

# 埼玉県立妻沼高等学校 部活動に係る活動方針

## ◆ 活動の基本方針

- 学習活動と部活動との両立を通して、充実した学校生活の実践を図る。
- 活動を通して、「礼儀」「身だしなみ」「時間厳守」の定着を図る。

## ◆ 指導体制の整備について

- 各顧問が年間、月間の活動計画及び、活動実績を作成し、校長に提出する。
- 作成した各種計画については、生徒及び保護者に公表する。
- 管理職は適宜部活動の視察を実施し、必要に応じて顧問と面談を実施する。
- 各部とも複数顧問制による指導体制を整える。

## ◆ 具体的な活動の進め方について

- 施設や設備の点検を定期的実施し、事故の防止に努める。
- 体罰やハラスメントの根絶を目指し、職員研修を実施する。
- 部活動顧問会で定期的に情報交換を行う。
- 生徒間のいじめやトラブル等の防止のため、顧問、担任、養護教諭等の連携を図る。
- 教職員全員が参加する心肺蘇生法やAED使用の研修を実施する。
- 部活動費用（部費など）を徴収する際は、管理職の指導の下、保護者の理解を得るとともに、会計報告を行うなど適正な処理を実施する。

## ◆ 適切な休養日等の設定について

- 学期中は、原則として週2日以上休養日を設ける。  
(平日1日以上かつ土日いずれか1日以上)
- 定期考査1週間前及び定期考査期間中の部活動は原則禁止とする。
- 1日の活動時間は、平日は2時間程度、休業日は3時間程度とする。
- 長期休業中は、学期中の休養日の設定に準じるとともに、連続する休養日を設定する。
- 顧問と生徒間で参加する大会・コンクール等を精査し、負担軽減を図る。